

1. 科目名 (単位数)	保育実習指導 I (2 単位)	3. 科目番号	SSOT3481
2. 授業担当教員	吉田屋 幸子		SCOT3481
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	保育実習 I (保育所) の意義・目的・内容・方法を理解する。児童福祉施設の種類及び保育所の機能と保育士の役割を理解する。さらに実習課題の明確化、実習記録の意義・方法の理解、実習施設の理解を図る。指導計画を立案し、実践に必要な準備を行う。実習後には、実習総括・評価を行い、新たな学習目標・課題を明確化する。		
8. 学習目標	「保育実習指導 I (保育所)」が終了した時点で、下記目標の達成が期待される。 1. 児童福祉施設の種類及び保育所の機能と保育士の役割を明確にする。 2. 実習記録の意義・方法を理解し、実習から得た学習内容を具体的に記録することができる。 3. 指導案の立案とそれに基づく模擬保育演習を行い、実践力を身につける。 4. 演習と議論を繰り返すことにより、理論と実践の統合とは何かを理解し、説明することができる。 5. 保育者を目指す者として望ましい態度を身につけられるよう、自身の日常生活態度、言葉遣い、服装、実習に臨む心構え等を自己評価・点検できる力を習得する。 6. 保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化について学び、説明することができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	【アサイメント】1実習目標や心構えについてのワークシートを提出する。 2実習記録に伴う記述にかんするもの (保育関連用語・漢字・その他) を提出する。 【課題】実践に役立つ教材製作とその指導案の立案を仕上げて提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 関口はつ江編『学びをいかす保育実習ハンドブック 大学図書出版, 2018 東京福祉大学編『保育実習のてびき』 【参考書】 厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館, 文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館, 幼保連携型こども園教育・保育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 (平成 29 年 3 月告示内閣府・文部科学省・厚生労働省)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 実習記録の意義・方法を理解し、実習から得た学習内容を具体的に記録することができるか。 2. 指導案の立案とそれに基づく模擬保育演習を行い、実践力を身に付けることができるか。 ○評定の方法 個別の授業態度、グループ活動への取り組み、レポート等を総合して評価する。 1. 授業態度 50% 2. 各提出物 50%		
12. 受講生へのメッセージ	保育実習はこれまで学んだ基礎的理論と技術を統合した実践の場です。実践を通じた実習体験をより有意義なものにするためにすべての回に積極的に取り組んでください。 保育者へのはじめの一歩を、この授業を通していっしょに踏み出しましょう。		
13. オフィスアワー	別途、通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	保育実習の目的と実習の流れを理解する。実習におけるマナーとルールについて理解し実習に向けての基本姿勢の形成を図る。	事前学習	教科書『保育実習ハンドブック』第 1 章「実習の基本を知る」の箇所を読む。
		事後学習	保育実習の基本について整理する。
第 2 回	実習の目的と内容を再度整理する。自身の実習課題を明確にし、個人調書の作成につなげる。	事前学習	『保育実習の手引き』の読み、自身の実習目標を考える。
		事後学習	『保育実習の手引き』の読み、確認し実習までのスケジュールを確認する。
第 3 回	実習先について調べ、オリエンテーションへの準備を行う。	事前学習	『保育実習の手引き』のなかの「実習生オリエンテーションについて」の箇所を読む。
		事後学習	オリエンテーションに向けてすべきことを整理する。
第 4 回	保育実習の基礎知識を学び、保育所の一日の流れを理解する。乳幼児の発達の特徴と年齢別による保育の留意点を理解する。	事前学習	『保育所保育指針』のなかの年齢別発達の箇所を読み理解する。
		事後学習	保育所のデイリープログラムの一例を読み保育所生活の一日の流れを把握する。
第 5 回	保育所実習における記録の意義を理解し、実習記録の望ましい記述方法を身につける。①時系列の記録	事前学習	教科書および手引きの「実習記録について」の箇所を読み、要点を整理する。
		事後学習	記録の見本にそって自己の記録を添削する。
第 6 回	保育所実習における記録の意義を理解し、実習記録の望ましい記述方法を身につける。②1 日のまとめ	事前学習	教科書および手引きの「実習記録について」の箇所を読み、要点を整理する。
		事後学習	記録の見本にそって自己の記録を添削する。

第7回	部分実習指導案の作成の基本を理解する。	事前学習	教科書の4章「指導案」の箇所を読む。
		事後学習	課題とする指導案を立案し、模擬保育に備えて準備を行う。
第8回	絵本の読み聞かせ、手遊びの実演 模擬保育①	事前学習	模擬保育の準備を行う。
		事後学習	模擬保育の反省を通して次回の準備をする。
第9回	絵本の読み聞かせ、手遊びの実演 模擬保育②	事前学習	模擬保育の準備を行う。
		事後学習	模擬保育の反省を通して改善点を明確にする。
第10回	事例を通して年齢ごとの子どもとの関わりにおける配慮点を整理する。	事前学習	別途資料をもとに年齢別の保育者による子どもとの関わりの留意点をまとめる。
		事後学習	年齢別の子どもの特徴を確認する。
第11回	実習に向けて最終準備を行い実習への心構えを確認する。	事前学習	『保育実習の手引き』の守秘義務の項目を読む。実習の心構えについてまとめる。
		事後学習	実習の準備内容を確認しておく。
第12回	実習目標および12日間の具体的課題について考える。	事前学習	自己の12日間の実習目標を考える。
		事後学習	実習目標及び課題を整理する。
第13回	保育所見学 (保育所の都合により見学ができない場合がある)	事前学習	保育所の年齢別の環境と見学時の留意点について考える
		事後学習	保育所の見学後の気づきをまとめる。
第14回	施設実習の目的及び実際について学ぶ。	事前学習	教科書の施設実習の箇所を読む。、保育実習I（施設）に向けて、自己課題を明確にする
		事後学習	自分の希望種別の施設概要について調べておく。
第15回	施設実習の記録の基本について理解する。	事前学習	保育実習時の記録について振りかえり、課題を整理する。
		事後学習	施設実習における留意点を整理する。